

バングラデシュ国
マタバリ超々臨界圧石炭火力発電事業
(有償資金協力)
環境レビュー

日時 2018年3月9日(金) 14:00~16:55

場所 JICA本部(1階111会議室)

(独)国際協力機構

助言委員（敬称略）

作本 直行 日本貿易振興機構（JETRO）総務部 環境社会配慮 審査役
鈴木 孜 元アークコーポレーション株式会社 技術部長
田辺 有輝 「環境・持続社会」研究センター（JACSES）持続可能な開発と援助
プログラム プログラムコーディネーター
林 希一郎 名古屋大学 教授
升本 潔 青山学院大学 地球社会共生学部 教授

JICA

<事業主管部>

高橋 暁人 南アジア部 南アジア第四課 課長
植松 紗友里 南アジア部 南アジア第四課

<事務局>

永井 進介 審査部 環境社会配慮審査課 課長
小井手 聡太 審査部 環境社会配慮監理課兼審査課

バングラデシュ国マタバリ超々臨界圧石炭火力発電事業（有償資金協力）
環境レビュー ワーキンググループの論点

本ワーキンググループにおける論点は以下の通り。

1. 複数コンポーネントで構成される事業のモニタリングについて

発電所・港湾・送電・アクセス道路と複数コンポーネントで構成され、それぞれ実施機関が異なる本事業においては、環境社会影響を複合的にモニタリングする必要がある旨、助言委員より指摘がなされた。JICA より、本事業では、各実施機関等から構成される月例調整会議が設立されており、事業全体の進捗に加え、環境社会影響に対する緩和策やモニタリング状況についても報告され、その協議結果については、モニタリング報告書を通じて、JICA も確認している旨説明があった。

2. 「重大な変更」について

助言委員より、「重大な変更」の運用方法について質問があった。JICA より、設計変更や事業コンポーネントの変更に伴い追加的に重大で望ましくない環境・社会への影響が確認された場合、又は、審査時に想定されなかった重大で望ましくない環境・社会への影響が確認された場合は、原則、「重大な変更」と判断している旨説明がなされた。なお、本事業の場合は、設計変更に伴い追加的に大規模な住民移転が見込まれることから、「重大な変更」に該当すると判断した旨の説明があった。

以上

バングラデシュ国マタバリ超々臨界圧石炭火力発電事業
(有償資金協力)
環境レビュー

NO.	該当ページ	事前質問 (質)・コメント (コ)	委員名	回答
【全体事項】				
1.	1,2	道路の新設部分 (パッケージ 3.3) が新たに提案されてきた理由も明示すべき。(コ)	升本委員	発電所・港湾の詳細設計の結果、用地取得対象地域が広がり、発電所付近にあるコミュニティ間をつなぐ連絡道路が分断されたことから、マタバリ島内の複数のコミュニティをつなぎ発電所建設予定地にアクセスする新設道路 (パッケージ 3.3) の新設が追加されました。 上述の住民配慮によるものであることがわかるよう、レビュー方針にその旨追記します。
2.	全般	全体として、各文書間の関係、および今回新たに作成されてレビュー対象となった文書およびその内容の全体像がつかみにくい感じになっています。(コ)	林委員	今回レビュー対象となった文書は、EIAと今般バングラ政府より提出された改訂版RAPです。今次環境レビューは、設計変更による住民移転数の増加を提出された改訂RAPで確認し、「重大な変更」に当たると判断されたことをもって、再実施がなされるものです。それに伴って、2017年10月にRAPは改訂されています。また、一部、盛土に伴う環境影響が想定されますが、追加影響を踏まえ、EMP及びEMoPの改訂がなされ、他方で、バングラ政府からは現段階ではEIAの改訂は不要であると聞いていますが、改めて確認いたします。
3.	レビュー2P	JICAガイドライン上で3.2.2の6番に「モニタリング及びモニタリングの確認中」に「重大な変更」があれば、改めてカテゴリー分類を行う等と書いていますが、JICAが2018年1月に、本件をカテゴリーAに変更された理由は、「重大な変更」(今回は、石炭火力事業で、住民移転の発生)と看做したためでしょうか。「重大な変更」内容に関する定義は、GL上も、明確にすべきでないでしょうか。将来、Bカテゴリー事業において、類例が発生する可能性はないでしょうか。(質)	作本委員	本事業は、当初より、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン (2010年4月交付)」に掲げる火力発電セクターに該当するため、カテゴリーAと分類されておりました。今回、設計変更に伴い、大規模な住民移転が生じたため「重大な変更」に該当する影響が新たに生じたと判断したため、変更部分の環境レビューを行っております。カテゴリーB事業においても「重大な変更」に該当するようであれば、同様の手続きを取ってまいります。

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
4.	N/A	本事業とマタバリ港開発事業は隣接していることから、両事業を地図にプロットし、両事業の関係性（共用設備、派生的・二次的な影響、累積的影響、不可分・一帯事業の有無等）を分かりやすく整理すること。(コ)	田辺委員	「マタバリ港開発事業」ではアクセス道路のルートが確定しておらず、今次レビュー対象である「アクセス道路」コンポーネントにおいては、派生的・二次的な影響、累積的影響として甚大な問題は現在のところ予見できません。また、本事業開始時点では「マタバリ港開発事業」の影響は想定されておらず、累積的影響は考慮されていないので、「マタバリ港開発事業」の環境レビューにおいて確認します。 共用設備部分は航路、ナビゲーション施設、タグボート等です。
5.	EIA3.3	EIA3.3の作成日時を記載してください。及び表紙を付けてください。(コ)	林委員	失礼いたしました。パッケージ3.3部分のEIAは、CPGCBLにより2015年11月に作成され、2016年1月にバングラデシュ環境局（DOE）承認がなされたものです。
6.	EIA3.2.1のp55	EIA3.2.1の54ページのproject areaの場所は正しいですか？(質)	林委員	製本時のずれと思われます。正しくは、東方約20kmの位置です。
7.	P1	事業の目的に温室効果ガスの排出を抑制し、気候変動の緩和に寄与するとありますが、何に較べ、どのように、どれ位の寄与が見込まれるのか(質)	鈴木委員	亜臨界圧技術による同規模の石炭火力発電と比較して、温室効果ガス排出を約40万トン/年（CO2換算）抑制すると見込まれます。 なお、マタバリ超々臨界圧火力発電所の1MWhあたりのCO2発生量は0.9トンに対し、国内の既存ガスタービン発電所は0.6～1.3トン、既存ディーゼルは0.8～1.8トン、石油は1.3トン、亜臨界石炭発電は1.3トンです。本事業による年間のCO2排出量は、バングラデシュの既存ガスタービン発電所と同程度であり、既存ディーゼル、石油、亜臨界石炭発電よりも低いと考えられます。
8.	P1	石炭搬入用港湾はマタバリ港開発とは別ですか？建設地は西の（海側）ですか、東の川側ですか？(質)	鈴木委員	石炭搬入用港湾は、発電所建設地の西（海側）です。「マタバリ港開発事業」にて整備される商業用港湾は、同石炭搬入用港湾の南側に併設する形で建設する予定です。
9.	P1	送電線 92km、地域送電線 25kmの建設がありますが、低周波、バードストライクについて記述がありません。(コ)	鈴木委員	今次環境レビュー対象である「アクセス道路」コンポーネントの主な環境影響が記載されたもので、送電線については記載しておりません。なお、モニタリング結果を確認したところ、低周波の問題やバードストライクは確認されていません。

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
10.	P1	アクセス道路、既設部分修繕・補修、アクセス道路建設、新規道路建設など、用語の定義を明確にして、各々の幅員をバ国の道路基準に則して明示してほしい。アクセス道路は誰が何にアクセスするための道路でしょうか？敷地西側のコミュニティ道路の幅員と延長は？(質)	鈴木委員	パッケージ3.2.1は「既設部分修繕・補修」、パッケージ3.3は「新規道路建設」です。環境方針資料ではこれらを総称して「アクセス道路」と表現しておりました。 アクセス道路は、バ国道路局（RHD）の設計ガイドライン基準に則して建設されます。同ガイドラインでは、各幅員構成はそれぞれ、5.5mの車道幅と1.2mの路肩と0.95mのバージ（路端）幅を含め、9.8mと定められています。 本事業における幅員断面構成については、改訂版RAPのP.9をご参照ください。アクセス道路の目的については、パッケージ3.2.1は国道1号線を結ぶ既存道のアクセス改善、パッケージ3.3は発電所外縁部を結ぶ道路新設であり、いずれもコミュニティ間のアクセス改善を目的としています。 敷地東側のコミュニティ道路（パッケージ3.3）の幅員は上述のとおり9.8m、延長は7.4kmです。
11.	P2	既存道路の嵩上をする道路の敷地幅員は何 m だったのでしょうか？(質)	鈴木委員	嵩上げ前・後ともに道路の幅員は変わらずパッケージ3.2.1の幅員は9.8mとなっています。他方で、パッケージ3.2.1の道路の用地幅（Right of Way）は、20.19mから25mに拡幅されています。
12.		パッケージ 322 の道路改修は幅員 x km、延長 30km で RAP は何時出て来て、重大な変更かを議論されるのでしょうか？(質)	鈴木委員	パッケージ3.2.2の幅員は9.8mです。 パッケージ 3.2.2 の実施可否については、バ政府内の検討結果をもって確定します。パッケージ 3.2.2 の建設可否について現在バ政府内で検討中であり、本事業のスコープに入るかどうかは未確定な状況です。同パッケージが本事業のスコープに含まれ、かつ設計変更により新たに住民移転が発生する場合は、重大な変更として環境レビューを再実施します。
13.	レビュー1P	アクセス道路の対象事業は5km を部分補修の方法で、さらにバ政府は 30 km のアクセス道路を計画中的のことですが、この 30 km 部分の事業実施は、いつの時点で確定できるのでしょうか。また、実施決定となった場合に、本環境レビューとの関連はどうなりますか。(質)	作本委員	EIA は、バ国環境法令に従い、コンポーネントごとに作成されていますが、協力準備調査時において、本事業の環境社会影響に関する実施管理体制やそれぞれの役割等を確認し、環境レビューでも確認済みです。左確認結果のとおり実施され
14.	レビュー1P	かような複数コンポーネントで構成される事業を、ばらばらの国際競争入札で落札させる場合、各コンポーネント間で将来的あるいは複合的に予想される環境	作本委員	EIA は、バ国環境法令に従い、コンポーネントごとに作成されていますが、協力準備調査時において、本事業の環境社会影響に関する実施管理体制やそれぞれの役割等を確認し、環境レビューでも確認済みです。左確認結果のとおり実施され

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
		影響を、BA 国がきちんと全体調整されますでしょうか。(質)		<p>るよう、改めて各実施機関に申し入れます。本事業では、各実施機関等から構成される月例調整会議が設立されており、事業全体の進捗に加え、環境社会影響に対する緩和策やモニタリング状況についても報告され、その協議結果については、モニタリング報告書を通じて、JICA も確認しています。</p> <p>また、道路コンポーネント内の各パッケージについては、実施機関である RHD が、各パッケージ間の調整を行い、コンポーネント全体の環境社会影響をモニタリングしますが、改めて RHD に対して適切な調整がなされるよう申し入れます。</p>
15.	N/A	<p>バングラデシュでは、海面上昇による水没の深刻化が予想されている。本事業エリアの水没の可能性及び他地域の水没による人口流入の可能性はあるか？(質)</p>	田辺委員	<p>候補地の選定にあたっては、海象データ等を参照しておりますが、現時点では本事業エリアにおける水没のリスクは予見されておりません。また、道路建設予定地は、2km～10km（海拔：約2m（MSL））内陸にあることから、海水が遡上することによる水没の可能性は低いと考えます。現時点までに得られた現地へのヒアリング調査の結果からは、高潮対策を考慮した標高を持つ開発地への人口流入の可能性についても確認されておりません。</p>
16.	レビュー1P	<p>このアクセス道路のかさ上げによる盛土作業は、周辺他地域（図1）との関連で、むしろ低地化し、周辺民家などに洪水の停滞等、二次的被害が及ぶ可能性はないでしょうか。(質)</p>	作本委員	<p>アクセス道路は、RHD の定める設計基準マニュアルに従って、計画高水位（HWL）で設計されますが、道路盛土の建設に伴う二次的被害については、それらの影響がないように盛土内に必要な開口を設ける予定であり、周辺民家などに洪水の停滞や二次的被害が及ぶ可能性は、現時点では想定されません。具体的には、道路側溝や排水施設（カルバート、樋門、コースウェイ、レギュレーター等）の建設が計画されています。また、川沿いのパッケージ3.3については、3か所に放水路を設け、洪水時の滞留を防ぐ計画です。環境レビューにおいては改めて、道路側溝や排水施設の効果を確認します。</p>
【代替案の検討】				
17.	N/A	<p>パッケージ3.2.1は、もともと発電所建設にあたって重車両の通行が必要であるとのことで計画されたが、その後、海からの設備搬入に変更されたとの説明が全体会合であった。本アクセス道路が現段階においても必要である理由を教えてください。(質)</p>	田辺委員	<p>建設工程や工法との関係から、本体工事に係る機材搬入等は荷揚げバースを用いて構内まで運搬される方法が最も効率的と判断され、海からの輸送に変更されました。パッケージ3.2.1は国道1号線を結ぶ既存道のアクセス改善、パッケージ3.3は発電所外縁部を結ぶ道路新設であり、いずれもコミュニティ間のアクセス改善を目的としています。バングラ政府の強い希望により、アクセスを担保・改</p>

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
				善することが求められているため、必要であると整理しています。
18.	N/A	発電所本体の工事の進捗状況を教えて頂きたい。建屋の鉄骨、ボイラー、タービン、発電機は搬入済みか？(質)	田辺委員	本体工事は、2017年9月に契約が締結され、現在、浚渫と土地造成が行われています。建屋の鉄骨、ボイラー、タービン、発電機の搬入は今後行われる予定です。
19.	N/A	マタバリ港開発事業準備調査で検討されているアクセス道路のオプション2及び3は、本事業のパッケージ3.2.1と一部重なっているように見える。パッケージ3.2.1は必要なのか？二重投資を回避するための調整が必要ではないか？(質)	田辺委員	「マタバリ港開発事業」のアクセス道路は主に大型貨物車両の通行等に活用することを想定しております。よって、採用される道路規格も異なります（「マタバリ港開発事業」では、国道級の道路（RHDの定める設計基準マニュアル国道（National Highways Standard）規格に基づく）、本事業では、県道級の道路（県道（Regional Highways Standard）規格に基づく））。また、一部交差する部分はあるものの、ルートは重なりません。パダルガハリ地点の橋梁も、本事業では既設橋梁の改修であり、「マタバリ港開発事業」の新設橋梁とは異なります。上述の理由から、本事で整備されるアクセス道路との二重投資は想定されません。
20.	EIA (3.2.1) P27	現在のパッケージ3.2.1のPAPsは1798名とのことだが、であればCandidate1が最も影響が小さいことにならないか？社会影響の最小化が不十分なのではないか？(質)	田辺委員	Candidate1の被影響住民数はパッケージ3.2.2も含むものです。改訂版RAP策定時（2017年10月）の最新の調査結果に基づき、パッケージ3.2.1の被影響住民数で比較した場合、Candidate3が最も社会的影響が最小となります。パッケージ3.2.1の代替案検討は、改訂版RAPのp.141～を参照ください。
21.	EIA (3.3) P60	パッケージ3.3の代替案検討にあたって、選択されたルートが大きく迂回するルートであることの利便性に関する比較はなされたのか？発電所敷地の一部を通過するルート設定は難しいのか？(質)	田辺委員	発電所用地は、石炭搬入用港湾、発電所本体、灰捨て場、機材置場等々が連結して建設されることから、一部を通過するルートを設定することは困難です。よって、事業を実施しない案との比較検討が行われました。
22.	EIA (3.3) P60	発電所の南側のコミュニティは発電所と港湾の両方に挟まれることになるか？3.3のルートを検討するにあたっては、マタバリ港開発事業との累積的影響によるコミュニティ分断や交通アクセス制限の可能性を検討すること。(質・コ)	田辺委員	発電所南側のコミュニティは、航路の東側に位置することから、両方に挟まれることにはなりません。また、コミュニティ分断や交通アクセスについては、それらコミュニティからパッケージ3.3で建設される道路へのアクセスは確保されることになるため、住民協議においても特段反対意見は見られませんでした。なお、マタバリ港開発事業は調査実施中であり事業対象地も含めて概要が確定してい

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
				ないため、累積的影響については、「マタバリ港開発事業」の環境レビューにおいて確認します。
23.	EIA3.3のp60	EIA3.3の60ページでは、ノーアクション代替案が述べられていますが、現行案との違いが分かるように表などにまとめた方が分かりやすいように思います（コ）。	林委員	最新の調査（改訂版 RAP 策定時 2017 年 10 月）に基づく代替案検討は、改訂版 RAP の p.113（Comparison Analysis of Alternative routes）に記載しています。
24.	環境レビューp2	環境レビューp2のパッケージ3.2.1に係る代替案検討結果というのは、具体的にはどの文書のどの部分のことを指していますか？（質）	林委員	改訂版 RAP の p.113（Comparison Analysis of Alternative routes）を参照ください。
25.	EIA 報告書（Package 3.2.1）28P	Table 3.1-3Comparison of construction aspects on each candidate route においても、同候補 3 案は、全長は 36.94km で若干長いが、道路工事区間 2.95km（最低）、新設橋は 0.64 km であり、他の候補案と比べ、遜色がないといえる。この比較でも、相対的に候補案 3 が適当、さらに、30 頁の Table 3.1-5Comparison of total construction cost コスト面でも比較され、コスト上も分かり易い説明になっている。（コ）	作本委員	
26.	EIA 報告書（Package 3.2.1）26P	ルート選定に関する代替案比較（Table 3.1-2Comparison of environmental and social aspects on each candidate route）では、アクセス道路案 5 件の中で、「候補案 3」が適切とされ、他の候補に比べ、Janata Bazar と Yanushkhali の間での建設影響が少なく、土地収用面積（39,000m ² ）が狭く、住民移転の発生を 0 に抑えられる、他方、マングローブ林があり、新設の橋があるとのことで、相応の環境社会配慮が必要だとの理由付けがされている。数値と説明理由を丁寧な比較しており、選択方法としては、点数制ではない	作本委員	パッケージ 3.2.1 のルート選定にあたっては、ご指摘のとおり、道路全長、コスト、環境社会影響等が比較検討され、「候補案 3（EIA）」が選択されています。

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
		が、適切かと思えます。（質）		
27.	EIA 報告書 (Pack age 3.2.1) 22P	EIA 報告書には、5 候補いずれのルートを選択した場合でも、新設橋建設が伴うとされているが、既にこれまでに、橋建設に伴う影響は、アクセス道路建設の有無にかかわらず、既に検討されていましたか。（質）	作本委員	当初計画から橋梁建設を含むアクセス道路建設が検討されており、EIA において橋梁建設に伴う環境社会影響が検討されています。検討内容は回答 49.を参照ください。
【スコーピングマトリクス】				
28.	P4	汚染対策の 2) の河川近傍の掘削工事とはどこで何をするのでしょうか？コンクリート、含油排水は沈殿池等の処理が必要。緩和策として斜面を覆うとありますが、斜面がありますか？案件概要説明では河川には触らないと聞きました。（質）	鈴木委員	「河川近傍の掘削工事」とは、アクセス道路 3.3 やアクセス道路 3.2.1 の橋梁アプローチ道路等川沿い地域における基礎工事と橋梁建設工事です。河川近傍の掘削工事に伴い水の濁りが発生することが想定されますが、影響は一時的となる見込みです。また、影響が拡大しないよう、シルト防止膜の設置が検討されています。 工事期間中、コンクリート排水や含油排水の発生による影響が想定されますが、河川の水質に影響を及ぼさないよう、ご指摘の取り沈殿池の建設と処理が行われる予定です。 盛土を行うことで、道路法面に斜面が設置されますが、盛土のコンクリート舗装、緑化等の方法で斜面を覆うこと等によって、土壌の河川への流出の予防は可能と考えます
29.	P4	土壌の工事中の「補完」は「保管」でしょうか？(コ)	鈴木委員	失礼いたしました。環境レビュー方針（案）は「保管」に修正いたします。
【環境配慮】（汚染対策、自然環境等）				

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
30.	4	「大気汚染」の確認事項として、供用時に「通行車両から排気ガスが排出される。」とされているが、その影響や対策についても記述すべきではないか。（コ）	升本委員	通行車両からの排気ガスによって、周辺の環境に大気汚染等の影響を与える可能性があることから、対策として大気汚染にかかる IFC（国際金融公社）環境ガイドライン基準値が遵守されているかのモニタリングを行い必要に応じて追加的な措置を講ずるとしてあります。環境レビュー方針（案）の確認済み事項の欄にその旨追記いたします。
31.	5	「騒音・振動」の確認事項として、供用時に「通行車両から騒音・振動が発生する」とされているが、その影響や対策についても記述すべきではないか。また、その下の「緩和策」は工事中のものではないか。（質・コ）	升本委員	通行車両からの騒音・振動によって周辺住民や構造物に影響を与える可能性があるが、現時点で基準値は超えない見込みであるものの、IFC 基準が遵守されているかのモニタリングを行い必要に応じて追加的な措置を講ずるとしてあります。環境レビュー方針（案）の確認済み事項の欄に追記いたします。
32.	5	家庭ごみの量を減らすために地元労働者の雇用を積極的に進めようとしているが、これが主な理由なのか？（質）	升本委員	主な目的は、周辺地域の雇用を促進するためのものです。副次的に地元労働者の雇用が促進されることで、工事中に移転・宿泊する労働者数が削減され、排出される家庭ごみの削減が見込まれるものという旨に修正します。
33.	5	「生態系」の確認事項として、「・・樹木の一部が道路拡幅工事により伐採されることにあるが、シルト防護シートを必要に応じて設置するなど、適切な緩和策を講ずることによって、最小化することが可能である」とされているが、これはどういう意味か？またどのくらいの樹木が伐採され、それに対してどのような対応策がとられるのか。（コ）	升本委員	「樹木伐採を行った際、裸地化し表面にはシルトが露出する可能性があるが、他地域の土壌への影響拡散を防ぐために防護シート等を用い、適切な緩和策をとる」との意味です。環境レビュー方針（案）の記載を修正いたします。 対象地域では、744本の樹木が伐採されます。 伐採樹木に対しては、Deputy Commissioner (DC) 経由で金銭補償を行う予定です。加えて、RHD のプログラムとして、伐採樹木の三倍の代替植樹が行われる予定であり、今後森林局と協議の上、植生と連続性に配慮した植林計画が策定される予定です。
34.	環境レビュー p5	環境レビュー5 ページに「居住地域にある樹木の一部が道路拡幅工事により伐採されることになるが、シルト防護シートを必要に応じて設置するなど、適切な緩和策を講ずることによって、最小化することが可能である。」とありますが、具体的な伐採本数やその樹木の希少性の評価および、具体的な緩和策はどのようなものでしょうか？金銭以外の代償措置の必要性はあ	林委員	伐採される樹木・（生態系）への影響は、対象地域の植生調査によって調査されます。EIA 及び協定準備調査において、調査しておりますが、耕作物、果樹、二次林のみであり希少種は含まれておりません。

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
		りませんか？(質・コ)		
35.	P5	道路拡幅で伐採される樹木・（生態系）への影響を、シルト防護シートの設置など適切な緩和策の実施で最小化できるとありますが、方法や指標などをもう少し具体的に書けませんか？（コ）	鈴木委員	
36.	P5	モヘシュカリ丘陵の位置づけをどう考えますか？港開発では記述しています。(質)	鈴木委員	<p>「マタバリ港開発事業」アクセス道路では、代替ルート案にモヘシュカリ丘陵を横切る案が検討されていたことから、全体会合時に説明しましたが、当該アクセス道路はモヘシュカリ丘陵を追加しないため、環境レビュー方針案には記載しませんでした。近隣を通る既存道の改修が含まれますが、モヘシュカリ丘陵の森林の伐採は含みません。</p> <p>また、第一期環境レビュー結果を踏まえても、モヘシュカリ丘陵内の工事ではないことから、車両の近隣通行による丘陵地の森林に対する影響は、規模、期間ともに極めて限定的と考えています。</p>
37.	P5	コヘリア橋の建設地は感潮区域ですか？幅員、橋梁形式、橋脚の数は幾つでしょうか？パッケージ33のEIAで橋による洪水影響を住民は怖れていますので、対応が必要と考えます。(質)	鈴木委員	<p>コヘリア川は感潮河川です。</p> <p>橋梁の幅員は10.25m、橋梁の形式はプレストレストコンクリート（PC）橋、橋脚は縦15本・横5本です。</p> <p>橋梁建設に当たっては、主水路の流出量及び氾濫水の流出量をもとに設計流出量を算出し、橋梁の水路開口部の幅を決定することで、水流の変化による河川氾濫とそれによる洪水のリスクを軽減しています。よって、橋梁建設に伴う洪水の発生は現在のところ想定されません。</p>
38.	P5	ソナディア島保護区がある。架橋サイト周辺の鳥類生息状況の調査が必要ではないか。長距離を移動するシギ・チドリ類にとって20kmは遠くない(質)	鈴木委員	<p>アクセス道路建設予定地では、森林地や湿地は含まれずシギ・チドリ類の獲食地や営巣地、生殖地への影響は想定されないことを協力準備調査で確認しています。また、シギは越冬する鳥類であります。マタバリ島に飛来し、越冬することはほとんどなく、鳥類学者の論文でもヘラシギの主要な採餌・休息所はソナディア島であることが報告されています。</p> <p>【参考文献】</p>

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
				<ul style="list-style-type: none"> ・ A survey of the Critically Endangered Spoon-billed Sandpiper Eurynorhynchus pygmeus in Bangladesh and key future research and conservation recommendations（執筆者①Alex Lees：ブラジルの博物館に勤務する鳥類学者②Jez Bird ③Rob Martin：イギリスの鳥類学者） ・ Bangladesh Spoon-billed Sandpiper diary Part-1、Part-2（2010年）：Jez Bird, Alex Lees, Rob Martinの研究報告書（上と同じ3人）
39.	P5	地形地質、工事中で「切土」の部分がありますか？EIAの写真を見る限り平坦地。（質）	鈴木委員	対象地域は平坦地であり、また、大部分が既存の道路を利用することから、切土は行われません。
40.	P5	地形地質、供用時に「盛土斜面の侵食」を「護岸工事」で影響を最小化し、コンクリート、植物で「斜面を覆い」土砂流出や濁水の発生を抑制する緩和策をとると、ありますが、用語は正しいですか？盛土厚50cmの斜面で護岸工事は大袈裟ではないですか？（質）	鈴木委員	ご指摘のとおりですので、面崩壊や浸食を防止する「対策工」という表現に変更致します。
41.	EIA 報告書 (Package 3.2.1) 82P	Kuhelia 川添いの橋建設予定の場所から約600mの位置に、マングローブ林があり、細心の保護と配慮が必要。BA国の多くが湿地であり、鳥や猛禽類等の各種貴重な生物種がいるだけでなく、バングラデシュとインド両国に跨る北東部のベンガル湾河口辺りのシュンドルボン国立公園には、世界最大規模のマングローブ林があり、そのバングラデシュ側の原生林には、300頭の稀少なベンガルタイガーが生息しており、1997年には、ユネスコの世界遺産（自然遺産）に登録されたとのことである。レビュー5頁「生態系」では、事業サイトから20km離れたソナディー島の記述はありますが、本アクセス道路や橋梁建設との関連においても、これら豊かな生態系に最大限の配慮が必要かと思われる。（コ）	作本委員	Kohelia 川の西岸沿いにマングローブ林が存在しますが、橋梁建設はマングローブ林への直接的な影響を避けるため、そこから離れた北側に建設場所を移して計画されています。また、橋梁の建設工事でも工事規模、期間を限定し、土壌の飛散防止シートの活用することでマングローブ林への影響が生じることがないように配慮して行われる予定です。

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
42.	レビュー ー2P	アクセス道路部分の建設で93世帯の非自発的(物理的)が発生するとのことですが、広範の国土が水没し、かつ頻繁な洪水が例年予想されており、近隣で、安全な住民移転先の確保がきちんとできるのでしょうか。(質)	作本委員	被影響住民に対しては、金銭補償を行う予定であり、代替地の提供はなされません。住民協議の結果でも、代替地の提供を希望する住民は確認されませんでした。なお、実施機関にヒアリングしたところ、近隣地域での土地取引の実績はあるため、住民移転先は確保されるものと思われます。
43.	・レビュー ー1P	アクセス道路について、既存道路を50cm嵩上げしたら、法面確保のために、バダルガハリーダルガット間で5mの道路拡幅工事が必要となった、これによって93世帯の非自発的移転が新規に必要だと予見されたとありますが、法面確保のために5mもの道路拡幅が実際に必要でしょうか。(質)	作本委員	道路斜面の設計は、設計基準に基づく道路強度等を考慮し検討されました。また、Right of Wayは安全性の面から斜面から両側2m(計4m)を確保することが必要とされており、結果として嵩上げに伴う拡幅幅と合わせて約5mの道路拡幅が生じました。
44.	レビュー ー4P、 5P	50cm盛り土用の大量の追加土砂は、サプライチェーンとの関連で、BA国のどこから安全確保できるのか、また土砂にヒ素混入がないのか、きちんと確認されてください。さらに、二次的な洪水被害が土取り場で起きないかどうか、確認されてください。(質)	作本委員	土砂の調達にはコントラクターの責任により行われますが、入札段階において土砂の環境評価が入札要件となっており、ヒ素の影響を含め評価が行われる予定です。なお、土取り場における二次的な洪水被害について、土砂の調達を行うコントラクターがかかる配慮を適切に行うよう、実施機関に申し入れます。
45.	4	環境管理計画中に、盛り土のための追加土砂採取が必要となるとされているが、どこから調達するのか？土取り場の環境影響も考慮すべきではないか。(質・コ)	升本委員	
46.	EIA報告書 (Package 3.2.1) 56P	同国全体の河川状況図 (Figure 4.2-2 Project Area in the Rivers of Bangladesh map) がある。JICAは、他に、チッタゴンではカルナフリ上水道協力案件で排水システム (CWASA)、ダッカ港で排水システム (DWASA)の案件事業等を実施してきておられるが、同国の都市部における湿地帯の乾燥化に関して、運河事業などの検討は行われてこなかったでしょうか。湿地の乾燥化は、同国の浮稲栽培やマングローブ、さら	作本委員	都市部における湿地帯乾燥化に対して、現在のところ対象地域においては運河事業の検討は行われておりません。湿地の乾燥化については、頂戴した情報とラムサール関連報告記事は環境レビュー時に参考にさせていただきます。

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
		<p>には生態系に負の影響を与えるでしょうが、洪水から一般の人々の生命などを救済してくれます。ラムサール関連の報告で「（バ国では）湿地資源のほかにもこれといった資源がない以上、いかに湿地の価値を高め、賢明な利用を図れるかが国家の矜持として問われている」といった記事もあります http://rcj.o.oo7.jp/japanese/greenpower/number.6.html。（質）</p>		
47.	レビュー —4P	<p>工事中の自動車運行により、大気汚染、運送中の廃棄物の落下、事故の安全対策等は必要かと思われますが、レビューには特に「なし」でよいでしょうか。（質）</p>	作本委員	<p>工事中の車両運行に伴う大気汚染と安全については、調査がなされており、通行車両からの排気ガスの影響や交通量増加に伴う事故件数の増加についての影響が想定されましたが、第一期環境レビュー時に甚大な影響は想定されないことを確認しているため、「特になし」としました。環境レビューにおいても改めて確認いたします。</p>
48.	レビュー —4P	<p>湿地でのアクセス道路の建設となるのでしょうか、土質が異なり、土壌自体が脆いといった問題はないでしょうか。または、多雨地域での道路建設ですので、アスファルトの強度を増すための工夫はありますか。あるいは、5Pに指摘されているような盛土道路斜面の「護岸工事」によって、浸食を予防できますか。過去に、日本企業による海外の道路開発事業で、森林が破壊され、赤土が大量に露出した工事場面を見ましたが、今回は、十分に対応できますか。4Pで、「騒音・振動」防止のために実施される「盛土の締固め施工」とは、盛土を強化するための方法ですか。（質）</p>	作本委員	<p>設計に当たっては、地盤調査（土壌サンプル評価）を通じて土壌が脆いことによる問題がないことを確認しております。</p> <p>一方で、川沿いの新設道路区間（アクセス道路3.3）については、柔らかいシルト層が堆積しているため、軟弱地盤対策工事が取られる必要があり、詳細設計段階において、強度確保のためPVD（物理蒸着）工法の適用が検討されています。</p> <p>また、多雨対策について、アスファルトの強度を確保するために、含水率の変化によって堆積が大きく変化しない、すぐれた排水特性を有する、有機物を多く含有しない、毛管現象による水の情報を生じさせないといった性質を持つ材料を採用する予定です。さらに、交通量予測や動的円錐貫入試験（DCP）の結果に基づき、道路のアスファルト層構成を検討しています。</p> <p>浸食については、コンクリート舗装、緑化等の方法で斜面を覆う等の保護工事によって、斜面の強度が確保されるため、甚大な浸食は想定されません。また、他地域の土壌への影響拡散を防ぐために防護シート等を用い、適切な緩和策がとられることから、影響は防げるものと考えます。</p> <p>「締固め施工」とは、騒音・振動を防止するためのものではなく、盛土を強化す</p>

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
				<p>るために用いられる工法です。締固め工法の実施により騒音・振動が生じることが想定されるためその対策が必要との意図で記載しています。</p>
49.	レビュー1P	<p>アクセス道路建設に伴う「新規橋梁の建設」(675m)に関する環境社会影響はいかに検討される予定ですか。「生態系」以外では、ほとんど記述が見られませんが、橋梁建設に伴い、各種の影響が予想されますが、どう対処されますか。廃棄物については、「ほとんど影響ない」と記述されていますが、塩分混じりの土砂の場合には、これをすべて「再利用」できるでしょうか。また、かような土砂を盛土に利用した場合、盛土の強度を十分確保できますか。（質）</p>	作本委員	<p>「橋梁建設」にかかる環境社会影響は、第一期環境レビューにおいて、すでに確認がなされています。「橋梁建設」にかかる環境影響として、Kohelia 川の水質・水文調査、植生調査などが行われており、影響は想定されるものの、緩和策を講じることで影響は最小化される見込みと確認しています。また、社会影響については、周辺に塩田とエビ養殖場がありますが、影響住民に対しては適切な補償がなされる予定です。</p> <p>砂については、余水吐で脱水された後、再利用され、再利用ができない土砂（シルト等）は沈澱池で処理され塵埃と排水に分離され適切に処分される予定です。また、盛土として再利用する場合には、盛土の強度を確保するためのPVD工法や締固め工法を採用することで、設計基準を満たす十分な強度が確保されます。</p>
<p>【社会配慮】（住民移転、生活・生計、文化遺産、景観、少数民族、先住民族、労働環境等）</p>				
50.	6	<p>住民移転に関し、環境レビュー方針は「特になし」とされているが、2000人を超えるPAPsが存在しており、かつRAPはその後の適切な実施を保証するものではないので、「住民移転及び用地取得はRAPに沿った適切な実施を確認する」等明記すべきではないか。（コ）</p>	升本委員	<p>ご指摘のとおり、「住民移転及び用地取得はRAPに沿った適切な実施を確認する」ことを実施機関と合意いたします。</p>
51.	8	<p>児童労働のリスクについての確認は行っているのか。（質）</p>	升本委員	<p>児童労働のリスクについては、第一期環境レビューにおいて、周辺地域の他事例として、男子児童が労働にかり出され、就学できなくなる問題が指摘されていますが、事業主体が請負業者と契約する際に、未成年の雇用は禁止する条項を明記することを実施機関とは確認しております。具体的には、円借款事業に係る標準</p>

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
				<p>入札書類において、コントラクターが遵守すべき「契約約款」の第6章（Staff and Labor）にて、コントラクターは「児童労働禁止」（6.21）が義務付けられており、本事業の入札においても、実施機関はこれを義務付ける遵守する義務が生じます。</p> <p>https://www.jica.go.jp/activities/schemes/finance_co/procedure/guideline/tender/ku57pq0000v0qfy-att/SBDW_GC.pdf</p>
52.	7	「9）被害と便益の偏在、地域内の利害対立」の確認済み事項は、「工事中」ではなく「供用時」と思われるところ修正ありたい。（コ）	升本委員	失礼いたしました。環境レビュー方針（案）を「供与時」に修正いたします。
53.	6、RAP11	住民移転の対象者がレビュー方針では93PAHsとなっているが、RAPでは89となっているので確認すること。（コ）	升本委員	改訂版 RAP の xii 頁の「89 世帯」は誤りです。正しくは、93PAHs（改訂版 RAPp.25 のとおり）であり、実施機関に修正するよう申し入れいたします。
54.	6	補償方針として、再取得価格での補償が示されているが、移転地の提供や代替地の提供は考慮されたのか？（質）	升本委員	住民協議を踏まえ、移転地の提供や代替地の提供はしないことにしています。住民協議において代替地による補償を望む住民はいませんでした。
55.	RAP P56	土地等の補償はすべて金銭で行われることになっているが、代替地の提供を希望する住民はいないのか？住民協議において、金銭での補償のみであることを説明しているか？（質）	田辺委員	住民協議の結果、代替地の提供を希望する住民は確認されませんでした。住民協議においても金銭補償のみであることを説明しています。
56.	RAP P56	OP4.12 では「土地に依存して生計を立てている移転住民に対しては、土地ベースの移転戦略が優先される」と規定されている。本事業において代替地の提供オプションが提示されないことは、この規定と乖離が生じることにならないか？（質）	田辺委員	PAPs の大多数は生計を立てている一部の土地に影響を受けるがそのほかの土地に継続して生計を立てることができることが確認できています。また道路脇約 2 m と比較的小規模なを用地取得が想定されていることから、一世帯当たりの土地取得面積は小さく所有地の一部のみであるケースが多く、住民からも土地の一部の代替地補償を行うよりは金銭補償が望まれた経緯もあることから、必ずしも代替地を優先する必要はないと考えています。

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
57.	RAP P56	金銭で補償を受け取った住民が、現実的に周辺で土地を購入することは可能なのか？周辺の取引実績はどの程度あるか？（質）	田辺委員	周辺の土地の購入取引の実績は確認されていることから、移転住民が周辺の土地を購入することは可能と思われます。
58.	レビュー方針 P6	生計回復支援策のひとつに漁業のトレーニングがあるが、発電所・港湾建設で周辺の海洋生態系が変化する中で、沿岸漁業の新規参入者や生産量の拡大を目指すことは妥当なのか？（質）	田辺委員	住民からのニーズを踏まえ、コースはその他3件用意されており、漁業以外の酪農・農業、大工、縫製の分野でもトレーニングを行うことで、他の分野での就業を促進する予定であり、新規の漁業従事者が増加することは想定していません。
59.	レビュー7P、8P	コミュニティバスの運行などは、いいアイデアだと思います。また、交通標識の設置も交通事故防止でいいアイデアだと思います。ぜひご検討されてください。（コ）	作本委員	適切な運行がなされるよう、改めて実施機関に申し入れます。
60.	レビュー方針 P7	コミュニティバスの運行について、住民のニーズを把握しているか？住民のニーズとマッチしているか？コミュニティバスの運行コストは誰が負担するのか？（質）	田辺委員	既存道の閉鎖に伴い、住民が迂回道（パッケージ3.3）を利用することに対する緩和策であり住民のニーズと合致しています。現時点で既に発電所用地の外縁部を走るルートでバスが運行されています（朝から夕方まで30分おき）。バスの運行費用はコントラクター負担、道路のメンテナンスはコントラクターと発電所実施機関であるCPGCBLで負担しています。発電所運開後は、CPGCBLが費用を負担するよう調整されています。発電所運開後も適切な運行がなされるよう、改めてCPGCBLに申し入れます。
61.	P8	11) 景観で、「景勝の地」は存在しないとしているが、生活環境としての景観について、伝統的な農漁村風景との比較とかの評価も考慮されるべきではないでしょうか。（コ）	鈴木委員	第一期環境レビュー時に影響は見られないことを確認しているため、「特になし」としました。また、住民協議においても特段懸念する意見は挙がりませんでした。

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
62.	P8	1 2) 労働・安全で、一時的な工事労働者の流入で、誰の感染症リスクが増大するのか？定期的な健康診断を受けるのは誰で、費用は誰負担して、何の影響が回避・最小化されるのか？（質）	鈴木委員	<p>一次的な労働者の流入による人口増加に伴い周辺住民への感染症罹患リスクの増大が予想されます。そのため、工事作業員を対象とした健康診断を、RHD 負担により実施する予定です。なお、かかる費用は RAP 関連費に含まれています。健康診断の実施によって、周辺地域への感染症拡大が回避・最小化されます。</p> <p>また、円借款事業に係る標準入札書類において、コントラクターが遵守すべき「契約約款」の第 6 章（Staff and Labor）にて、コントラクターは感染症対策が義務付けられており（6.7「保健と安全」のとおり）、本事業の入札においても、実施機関はこれを義務付ける遵守する義務が生じます。</p> <p>https://www.jica.go.jp/activities/schemes/finance_co/procedure/guideline/tender/ku57pq0000v0qfy-att/SBDW_GC.pdf</p>
63.	レビュー —6P	<p>①移転対象者数の合計について、縦行の合計数字の確認を、お願いします。改訂版 RAP XII 頁第 3 パラ：非影響住民合計数を、改訂版 RAP XII 頁が文章中で説明するとおりに合算すると、全体で 443 世帯・2666 人（物理的・非自発的移転者 89 世帯・545 人、経済的・非自発的移転者 354 世帯・2121 人）となるのですが、このレビュー 6 頁の表や改訂版 RAP25 頁の表中数字（Table 15 Project Affected Entitled Person on the basis of legality）では、これとは異なった数字により計算されています。横行の集計は合いますが、縦行では、物理的が（93 世帯・545 人）、経済的が（294 世帯・1751 人）となり、被影響住民の合計数字に合いません。この結果、他の Package3.3.1 と Package3.3 の縦横行の移転者数の数字が大きく変更されるかもしれません。②このレビュー 6P の表中では、非自発的移転とは、物理的と経済的の 2 種類に分類されてい</p>	作本委員	<p>① 失礼いたしました。改訂版 RAP に合わせ修正します。</p> <p>② 非自発的住民移転（93 世帯/545 人）とは、物理的移転者数を指します。環境レビュー方針を修正します。他方、経済的被影響住民は、経済的移転者数を指し、金銭補償と生計回復支援がなされます。</p> <p>③ 改訂版 RAP の xii 頁の「89 世帯」は誤りです。正しくは、93PAHs（改訂版 RAPp.25 のとおり）であり、実施機関に修正するよう申し入れいたします。</p> <p>④ 実際の非正規住民の住民移転数は 0 名/0 世帯でした</p>

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
		<p>るのでしょうか。「経済的」非自発的移転とは、補償金受け取りのみの対象者との意味でよいのでしょうか。</p> <p>③非自発的住民移転者数といった説明の場合(2P.6「重大な変更・・・」文中では93世帯・545人)、経済的・非自発的移転者数は算入せずに表記するのが国際的な慣例だとすると、今回の物理的・非自発的移転者数の89世帯・545人の数に変更されるのでしょうか。</p> <p>④これらの数字は、非正規の移転者数も含んでおりますか。（質）</p>		
64.	レビュー3P	<p>アクセス道路建設に伴う非自発的住民移転が、2017年11月段階でJICAに届いた代替案検討結果等から「当初想定より大幅に増加」したとありますが、補償金目当ての移住でなく、嵩上げ工事によって発生した住民移転数と理解してよいのでしょうか。（質）</p>	作本委員	嵩上げ工事によって発生した住民移転数です。
【ステークホルダー協議・情報公開】				
65.	6	<p>両方のパッケージを合わせて2666人のPAPsがいるのに対し、女性の住民協議への参加者が極端に少ない。女性の参加を促すような取り組みはなされたのか？またこれでは女性の意見を十分反映したとはいえないのではないかと。（質・コ）</p>	升本委員	INGO(Implementing Non-Governmental Organization)がすべての世帯主を一軒一軒訪問し、女性の参加を呼びかけた結果、参加された女性の数です。また、フォーカスグループディスカッションの開催も同様の方法で呼びかけが行われました。しかし、協力準備調査でも他の地域と比べより伝統的な生活を営み、女性の多くはスカーフを着用するなど極めて宗教的で信心深い印象があると報告があるように、女性のみが積極的に公の場の協議に参加することが容易でない地域であるため、これ以上の女性の強制参加は促すことは困難な状況です。
66.	環境レビューp6	<p>環境レビューp6の住民協議のところで、女性の参加が少ないこともあり、参加女性を対象にフォーカスグループ会議を実施したとありますが、そもそも参加女性</p>	林委員	

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
		を増やす方法等の検討はなされたのでしょうか？ (コ・質)		
67.	レビュー —6P	RAP 添付資料 FGD for Package 3.2.1, 3.3 から : 2018 年 1 月 8 日に実施された女性参加のフォーカス RAP 議事録から(Package 3.2.1)は、33 名が参加したものの、発言したのは 3 名だけで、その内容はほぼ補償額要求についてであり、フォーカスグループ協議は余り奮わなかったと見てよいでしょうか。同日の (Package 3.3)についても同様で、1 名の女性が参加して、補償額要求の発言が 1 件あっただけでした。むしろ改定 RAP にある通り、BA 国では、同資料 124P 以下のとおり、通常の SHM で (全体 107 名参加、男性 74 名、女性 33 名)、男女混合の STM がよかったとの理解でよろしいでしょうか。(質)	作本 委員	
68.	6、 RAP11	ガイドラインには「協議に際しては、影響を受ける人々が理解できる言語と様式による説明が行われなければならない」としているが、今回の RAP は英語で書かれており、かならずしも PAPs が理解できるとは言えないのではないか。正式な承認後、ベンガル語の冊子を配るとしているが、住民協議の段階で用意すべきではないのか。(質・コ)	升本 委員	住民協議での説明はベンガル語で行われています。識字率も必ずしも高い地域とは言えないことから、口頭での説明を行いました。ベンガル語版の改訂版 RAP は、近日中に公開されると聞いていますが、確実に発刊されるよう実施機関に改めて申し入れます。
69.	レビュー —方針 P4	今回、モニタリング期間中に重大な変更が生じたことを踏まえ、バングラデシュ政府に対してモニタリング結果の公開を強く働きかけること。(コ)	田辺 委員	これまでもモニタリング結果の公開について申し入れてきましたが、改めて環境レビューにて実施機関に申し入れます。
70.	レビュー —4P	情報公開では、BA 側の主張もあるでしょうが、是非とも JICA さんからの働きかけを期待したいと思います。(コ)	作本 委員	

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
71.	P3	3) ステークホルダー協議の最後で、道路線形、マングローブ林の生態系への影響、と緩和策はEIAに反映されたとありますが、3.3のEIAのどの部分でしょうか？（質）	鈴木委員	道路線形の選定についての住民協議の結果を踏まえ、EIAパッケージ3.3のp.60に選定理由が記載されています。 マングローブ林の生態系への影響調査の結果は、EIAパッケージ3.3のP.77に記載されました（対象地域にマングローブは含まず、橋梁建設予定地の0.6kmにあるマングローブは小規模で生態系への影響は限定的）。
【その他】				
72.	NA	本発電事業は、「チッタゴン石炭火力発電所建設事業（協力準備調査（有償）」）で議論されたプロジェクトでしょうか？	升本委員	第一期環境レビュー時は、案件名「チッタゴン石炭火力発電所建設事業（協力準備調査（有償）」）にて助言委員会に付議しています。
73.	環境レビューp6	環境レビュー6ページのところの補償方針ですが、構造物や農作物等の部分は金銭補償の対象になりえると思いますが、個人宅の樹木等はどのような形で市場価格を設定し保証するのでしょうか？また、ある程度のまとまった森林地域というのは、今回は対象に含まれていないとの理解でよいのでしょうか？生態系への影響はないとの理解でよいのでしょうか？（質）	林委員	個人所有の樹木に対しては再取得価値に基づき、補償が行われます。算出方法はCox's Bazar DistrictのDeputy Commissionerの算定基準に従います。 同アクセス道路建設予定地に、森林地域は含みません。また、生態系への影響も限定的です。
74.	33EIA p51	432の土地利用で、地域の85%の洪水水深が90～270cmの所に50cmの盛土で、どれ位の改善になるのでしょうか？（コ）	鈴木委員	道路面の高さは50年間の洪水実績等を考慮に入れ、詳細設計において改めて検討しました。（パッケージ3.2.1の高さ：平均3.68m～6.0m 平均水位(M.S.L)、パッケージ3.3の高さ：平均6.0m(M.S.L)） なお、「50cm」はRHDとの審査時の協議で提示された数値です。実際には詳細設計にて確認した嵩上げ高となります。
75.	レビュー-6P	1)の表：項目名の誤植「被自発的」⇒「非自発的」でないか。（コ）	作本委員	失礼いたしました。「非自発的」に修正いたします。
76.	・レビュー-3P	既にかさ上げ後でECC承認を受けたとのことですが、BAの環境保護命令（E.C.R. '97年）の8条（7）項で、別添Form3に基づき提出された「環境許可証」	作本委員	RHDは60日以内にDOEと協議する機会を持つことを確認しており、詳細な説明を受けるプロセスを経て承認を行っており、国内法に即した対応を取っていると認識しております。また、RHDは他事業の承認の際にも同様のプロセスをと

NO.	該当 ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回 答
		<p>(Environmental Clearance Certificate) 申請書に対し、本件のような「赤カテゴリー」(Category A) に対し、申請後 60 日以内といった極めて短期間の内に、許可証 (Location Clearance Certificate) を交付または拒絶の判断をしなければならないと規定していますが、かような短期間の間に、BA 政府側はきちんとした確認作業を実施できるのでしょうか。(質)</p>		<p>っていますが、特段問題は生じていません。</p>